

委 託 業 務 仕 様 書

1 委託業務名

八郎湖環境学習推進業務

2 仕様書の目的

この仕様書は秋田県知事 佐竹敬久（以下「甲」という。）が、受託者（以下「乙」という。）に委託する八郎湖環境学習推進業務を円滑かつ効果的に処理するために定める。

3 事業目的

八郎湖に係る湖沼水質保全計画の中で掲げる長期ビジョン（別紙参照）の実現を目指して、次世代を担う小学生等の環境保全意識の向上を図る。

4 委託期間

契約の日から令和2年3月31日

5 委託業務の内容

- ・ 八郎湖やその流域河川に棲む様々な“生き物（水草や魚、小動物等）”や“水”の視点に沿った野外学習や座学を通じて、八郎湖の現状について触れ、自ら考えさせる「環境学習プログラム」を実施する。なお、中学生以上を対象とした学習を実施する場合は、専門性の高い授業が可能な大学研究者等の外部講師を積極的に活用すること。
- ・ 八郎湖流域の小学生等が、夏休みを利用して、郷土の象徴である“八郎湖”という共通のテーマのもとに学校の枠を超えて集い、八郎湖の現状やそれぞれの想いを共有し関心を深める「子ども交流会」を実施する。
- ・ 事業の実施に必要な学校や関係者との調整（実施日時、実施内容、外部講師との連絡調整等）、材料等の準備、経費の支払い等のコーディネートを行う。

6 実施回数

- ・ 環境学習プログラムの実施回数は30回以上とする。（外部講師対応分を含む。）
なお、湖岸において出前授業を行う場合、事前に年2回以上、その地点の除草作業等を行うこととする。
- ・ 子ども交流会の実施回数は1回以上とする。

7 対象

- ・ 八郎湖流域に位置する小学校のほか、八郎湖における環境保全の担い手となり得る学生（中学・高校のクラブ活動、大学のサークル活動等）、社会人も含む。

8 実績報告

受託者は、次の資料を納品することとする。

実績報告書（紙ベース） 1部

（内容）

- ①実施一覧（日時・学校名・学年・教諭・受講者数・講師・内容）
- ②実施日毎個票（題名・日時・場所・学校名・学年・人数・教諭・講師・補助員・聴講者・目的・実施状況および結果・あらかじめ用意した物など）
- ③状況写真
- ④実施回数、受講団体数、受講者、それぞれの合計

9 その他

- ・ 30回を下回る場合は、協議のうえ契約金額を減ずる。
- ・ 野外活動の際は、安全管理に配慮し、十分な人数の補助員等を配置すること。

八郎湖の長期ビジョン

八郎湖の望ましい水環境及び流域の状況等に係る将来像を表す長期ビジョンについては、次のとおり「恵みや潤いのある“わがみずうみ”」として策定した。

多くの住民・事業者等の方々と長期ビジョンについて共有を図るとともに、その実現に向けて各種対策を推進する。

—— 恵みや潤いのある“わがみずうみ” ——

1 農業や漁業など

湖にかかわる人々に持続的な恵みをもたらす

- 農業用水として安定的に安心して利用できる
- 湖の内外で継続的に漁業を営むことができる
- 湖の周辺の産業に恵みをもたらす
- 湖とかかわる全ての人々に持続的な恵みをもたらす

2 水遊びや遊漁など

子どもから大人までが潤いに包まれる

- 水遊びや遊漁など水と触れ合える湖
- 湖畔を散歩したくなるような湖
- 夕日が映える湖
- 野鳥観察ができる湖
- 安らぎや憩いの湖
- 健康で文化的な暮らしを支える湖

3 鳥や魚や植物など

多様な生き物が命を育む

- ヨシキリやオオセッカなどの野鳥が舞う
- 多様な魚たちが泳ぐ
- ヨシやアサザなどが茂り、モグが揺らぐ
- 生き物の多様性がある

参 考 図 書

参考図書は、参考として提示するもので、契約上拘束するものではない。
参考図書の内容は、設計変更の対象としない。

1 プログラムの要素

プログラム内容については、次の例を参考として実施して下さい。

<例>

- ①八郎湖の現状に触れる学習
- ②八郎湖を守っていくために必要な環境について
- ③八郎湖にみられる生き物について（水草・生き物を通じて外来生物にも触れるなど）
- ④アオコとミジンコの関係
- ⑤水草がもたらす様々な働き
- ⑥水草を増やす取り組み（八郎湖消波堤における水生植物移植体験学習の実施）
- ⑦水草を植えた後の環境の変化について
- ⑧八郎湖に注がれる“水”の視点でみてみよう。

2 謝金

外部講師の謝金については、次のとおり積算しています。

出前授業 ①県外講師6,000円／1時間 ②大学教授6,000円／1時間 ③住民団体6,000円／1時間

3 外部講師

外部講師については、次を想定し積算していますが、目的に沿った内容の知見や経験を有している講師や地域団体等への代替も可能とします。それぞれの講師や団体との連携に努めて下さい。

出前授業 ①県外講師 6回 ②大学教授 6回 ③住民団体 6回
子ども交流会 ①大学教授 1人

4 サポーター等

講師の補助的役割を担うサポーターについては、次を想定し積算しています。目的に沿った内容が達成されるよう適宜配備して下さい。

子ども交流会 住民団体等からのサポーター2名

5 野外活動における移動手段

小学校については、各学校が市町村バスを手配することを想定しています。